

II-2. くねくね、すらり

江戸から現代までの「美少女の美術史」。こうして眺めわたしてみると、日本の歴史において非常に多くの少女イメージが生み出されてきたことにあらためて驚かされます。

また、それらの中には時代を超えて通じ合う仲間のような作品たちもときに見つかります。たとえば、この小コーナーでは江戸時代の浮世絵師・鈴木春信、大正から戦前にかけて活躍した叙情画家・竹久夢二、戦前から戦後にかけて人気を博したイラストレーター・松本かつぢ、漫画家兼イラストレーターの林静一といった作家たちの作品をピックアップしています。それぞれに異なる出自を持つ名手たちですが、「くねくね、すらり」とした少女の造形にはどこか共通する特徴があります。

みなさんもぜひ、今日この会場のなかから通じ合う仲間のような作品たちを探してみてはいかがでしょうか。

美少女の
美術史

～憧れと幻想に彩られた私たちの偶像～

美少女な
わんない
じゃけて
じわんない
い。